

6月の図書館イベント

中央図書館映画上映会(入場無料)

『プロフェッショナル仕事の流儀』

樹木医・塚本こなみの仕事／

デザイナー水戸岡鋭治の仕事(鉄道デザイン)

<上映時間 90分>

●日時 10日(金) 開場18:30 上映19:00～

●場所 穂高交流学习センター「みらい」
多目的交流ホール

ドキドキ・ワクワクお話の世界

◇中央図書館 おはなしのとびら

おはなしのへや

1・8・22・29日(各水曜日)

10:30～(乳幼児以上対象)

◇中央図書館 おはなしとしゃかん

おはなしのへや

25日(土) 10:30～(乳幼児以上対象)

◇豊科図書館 ちいさいたんぼ

多目的室

17日(金) 11:00～(乳幼児対象)

◇豊科図書館 おはなしたんぼ

多目的室

17日(金) 16:30～(幼児以上対象)

◇三郷図書館 ポケットの会

三郷文化公園体育館1階会議室

11日(土) 10:30～(乳幼児以上対象)

◇堀金図書館 おはなしのへや

堀金図書館絵本コーナー

21日(火) 10:30～(乳幼児対象)

16:30～(幼児以上対象)

◇堀金図書館 おりがみのへや

堀金図書館絵本コーナー

22日(水) 16:30～

◇明科図書館 ひまわりおはなし会

おはなしのへや

25日(土) 11:00～(乳幼児以上対象)

三郷図書館羊毛フェルトで
猫型マット制作

三郷図書館
TEL 76・3078

ふわふわの羊毛を、専用の針で刺して固める手芸です。初心者でも簡単に作れます。

●日時 6月16日(木) 午前10時～正午

●場所 三郷文化公園体育館内健康相談室

●講師 村山照美さん

●定員 20人(先着順)

●参加費 500円(材料費)

●持ち物 ハサミ

●申し込み 5月31日(火) 午前10時から三郷図書館窓口または電話で申し込みください。



堀金図書館絵本わくわく講座①

TEL 72・3601 FAX 72・3602
堀金図書館

絵本に出てくる料理を作る「絵本わくわく講座」を開催します。今回は「うちにかえったガラゴ」に出てくるカレーライス等です。

●日時 6月4日(土) 午前10時～午後1時

●場所 堀金公民館調理実習棟

●内容 読みきかせ、料理づくり

●対象 幼児・小学生(幼・保育園児は保護者同伴)

●定員 20人(先着順)

●参加費 無料

●講師 おはなしパレット

●持ち物 エプロン、三角さん、ハンカチ、上履き

●申し込み 5月24日(火) から電話または堀金図書館窓口で申し込みください。(受付時間 午前10時～午後6時)



中央図書館 角谷道弘講演会

TEL 84・0111 FAX 84・0116
中央図書館

「世界の果てまで、イッテQ! 登山部」のガイド役で、国際山岳プロガイドの角谷道弘さんを招き、講演会を開催します。

●日時 7月3日(日) 午後1時30分～3時

●場所 穂高交流学习センター「みらい」多目的交流ホール

●講師 角谷道弘さん

●内容 「世界の山を登って、登山の魅力と危険と安全について」

●対象 一般(同伴の子どもは5歳以上) ※入場券は一人2枚まで

●入場料 無料

●定員 200人(抽選・全席指定)

●申し込み 申込用紙またははがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、中央図書館窓口へ持参するか、郵便かファクスで申し込みください。申込用紙は各図書館・ホームページから入手できます。

●募集期間 5月25日(水) 午前9時～6月22日(水) 必着(※6月下旬までに当選者へ入場券を発送します)



角谷道弘さん

豊科図書館チャレンジ講座

「ビーズで作るストラップ&ブレスレット」

TEL 71・4033 FAX 73・1802
豊科交流学习センターきぼう

ビーズを使った初心者向けの講座です。参加は無料です。

●日時 6月4日(土) 午前10時～正午

●場所 豊科交流学习センター

「きぼう」

●定員 20人(4歳以上・先着順)

●申し込み 5月22日(日) 午前10時から豊科図書館窓口または電話で申し込みください。

再発見! 安曇野の文化 その50

TEL 71・2464 FAX 71・2238
文化財博物館係

穂高神社の式年遷宮祭

今年、穂高神社では、7年に1度の式年遷宮祭が行われました。遷宮とは、社殿の建て替えや修繕を行う間、御神体を別の神殿に遷すことです。

今年は「御破損」とも呼ぶ小遷宮の年です。前回の平成21年には、20年に1度の大遷宮祭が行われ、本殿が建て替えられました。

遷宮祭の期間中、仮殿へと遷されていた御神体は、工事や修繕が終わった後、本殿へ戻されます。この本殿遷座祭の日時は、5月の寅の日寅の刻と定められ、今年は5月8日に催されました。寅の刻は、真夜中の午前3時。すべての照明が消された暗闇の中、御神体白い絹垣に囲まれて本殿へと戻されます。この間、神職らが「おー」という警蹕(先払い)の声をあげ、また雅楽を奏でながら進みます。

遷宮祭は、室町時代には行われており、今も連続と受け継がれています。



本殿遷座祭の様子

おすすめの1冊
いるのいないの

京極 夏彦／作 町田 尚子／絵
東 雅夫／編



紹介する人 横内 明さん
(明科・中川手)

私が紹介する本は、怪談絵本です。

祖母の家で暮らすことになった少年。祖母の家はとも古くて、天井が高く、わずかな光が入ってくる窓があってもうす暗いのです。暗い天井を見ていた少年は、男の顔を見ます。少年は怖いと思い祖母に聞きますが、「誰かわからないしいるかいもないかわからない。見なければいいのとおんなじだ」と言います。

絵本の表紙や古くて暗い家の中の様子、無数の猫、少年が見た男の顔。ただ『怖い』が伝わってくる絵本です。この本には幽霊とかおばけという言葉は出てきません。大人は経験からいろいろなことを子どもに伝えてしまいますが、いるのかいないのか、怖いけど怖くないかもと想像しながら親子で読んでもらいたいです。